

ジャマイカ政治・経済月間情勢（2021年10月）

【要旨】

経済では、温室効果ガスの削減及び気候変動の影響を緩和するための国の政策の大筋となるジャマイカ国家決定貢献実施計画が正式に発足した。外交においては、ジャマイカは国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP 26）において、カリブ地域及び小島嶼開発途上国の代表として極めて重要な役割を担う。新型コロナウイルス関連では、国内の9つの保健機関において、自宅訪問型のワクチン接種が開始された。

1 内政

法案関連

1日、セクシュアル・ハラスメントからの保護・防止に係る法案が両議会にて通過した。
（3日付広報局）

2 経済

（1） フライト関連

ア ジャマイカにとって二番目に大きな市場であるカナダからの直行便フライトが、11月1日より週50便運航される予定。（1日付グリーンナー紙）

イ エドモンド・バートレット観光大臣は、ドバイ・ジャマイカ間という珍しいフライトの来年初旬導入に向けて、エミレーツ航空の代表と協議を開始したことを発表した。（26日付オブザーバー紙）

（2） 気候変動に係る政策

9月29日、温室効果ガスの削減及び気候変動の影響を緩和するための国の政策の大筋となるジャマイカ国家決定貢献（NDC：Nationally Determined Contribution）実施計画が正式に発足した。（9月30日付広報局）

（3） 世界遺産

ジャマイカは、ポート・ロイヤルの水没した町の世界遺産登録の可能性を探っている。登録が実現すれば、ギリシャのアレクサンドリア及びイタリアのバイアに続き世界で3番目の水没した都市となる。（28日付オブザーバー紙）

3 外交

国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP 26）

パーネル・チャールズ・ジュニア環境・気候変動大臣は10月31日から11月12日、

スコットランドにて開催される国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP 26）においてジャマイカ代表団を率いる。同会議においてジャマイカは、カリブ地域及び小島嶼開発途上国の代表として極めて重要な役割を担う。（11日付グリーナー紙）

4 新型コロナウイルス関連

（1） ワクチン関連

ア ジャマイカ外務省は11日、英国がジャマイカのコロナワクチンカードを承認することを発表した。これにより、ワクチン完全接種済みの旅行者は隔離が免除され、到着2日後にPCR検査受検が求められるのみとなる。（7日付グリーナー紙）

イ 10%強の国民がコロナワクチン完全接種済みの状況の中、保健省はいまだ国民の躊躇と抵抗が問題となっており、接種者の多くは70代であることを明らかにした。（12日付オブザーバー紙）

ウ 国内の少なくとも9つの保健機関において、自宅訪問型のワクチン接種が開始された。（25日付ループ・ニュース・ジャマイカ）

（2） 新たなコロナ対策

ホルネス首相は29日以降の新たな新型コロナ対策を発表し、日曜日の終日外出禁止令を解除することを発表した。（27日付広報局）

この資料は、ジャマイカの政治・経済情勢を中心に各種報道・発表をとりまとめたものですので、記載事項の信憑性まで確認したものではありません。

記載事項は、在ジャマイカ日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。